

技術・家庭科 技術分野2学年の学習

狭山市立入間野中学校

■学習目標

- ①生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術を図るとともに、それらに係る技術を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- ②生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、解決を解決する力を養う。
- ③よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

■観点と評価方法【】:観点 ():方法

下記に示す3つの項目で観点別に評価し、総合的な評価をします。

①【知識・技能】(回路図、作品、定期テスト)

- ・定期テスト及び単元テストから、技術的概念に関する知識について理解しているか。
- ・調べ学習や観察・実験等から技術的概念を文章によって説明することができるか。
- ・製図や式、グラフで実験結果等を表現することができるか。
- ・学習した内容を踏まえて技能を身に付けているか。

②【思考・判断・表現力等】(回路図、レポート)

- ・論述やレポートで問題を解決する方法について考えているか。
- ・グループでの話し合いで自らの考えを深めているか。
- ・発表活動で考えを表現できているか。

③【学びに向かう力・人間性等】(レポート、振り返りシート)

- ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうしているか
- ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしているか

※③については単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するのではなく、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価する。

■授業の約束

- ①先生や発表者の話をしっかりと聞く。
- ②黒板に書いたことや必要と考えた先生の話などは記入する。
- ③色ペンや図、表などを効果的に用いて工夫して書く。
- ④授業中に配布したプリントはノートに貼る。
- ⑤指定された工具のみを使用し、それ以外の工具や工作機器には勝手に触れない。
- ⑥服装は原則、座学が制服、実習はジャージとし体育着は不可とする。